



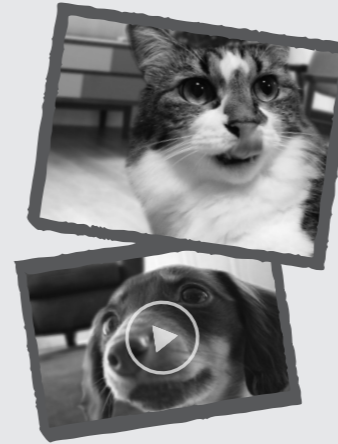
# ペットのお留守番も安心 Auto Feeder

ペット用オートフィーダー

カメラ付

自動給餌器

## 取扱説明書



# ペットのお留守番も安心 Auto Feeder

ペット用オートフィーダー

カメラ付

自動給餌器



1.各部名称	付属品/製品仕様	01
2.ご使用の前に	設置場所について/電池の入れ方 赤外線センサーについて 食器の取り付け方/蓋の開き方	02
3.操作方法	操作パネル各部名称/接続の仕組 アプリ及び自動給餌設定 手動給餌の方法	03・04・05 05
4.フードのセット	フードタンクへのフードの入れ方	07
5.サポート	フードタンクの各パーツ/お手入れの仕方/ フードタンク取り外し&取り付け方 困ったときは	07 08・09
6.安全上のご注意		10



マルカンでは、本品をより便利にお使いいただく為、アプリ等の見直しを行っております。ホームページの本品の説明等と本取扱説明書と差異が生じる場合がありますが、ホームページの説明等が最新となりますのでご了承ください。  
【 [http://www.mkgr.jp/mg.php?auto\\_f](http://www.mkgr.jp/mg.php?auto_f) 】←このURLで最新の取扱説明書がダウンロードできます。

安全にお使いいただくために必ずお読みください。

このたびは本品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前に本書をお読みのうえ、正しくお使いください。楽しく安全にご使用いただくために大切に保管し、必要なときにお役立てください。  
※破損やケガがないように、組み立て・ご使用の際を含めて、丁寧に取り扱いください。

※ペットが起因する事柄についての補償はご容赦ください。本品を引っかく、噛む、かじる、倒す、などがなく、お客様の管理のもとでご利用ください。

いきものとフード・用品のトータルメーカー  
販売者 **株式会社マルカン**  
マルカン事業部  
〒532-0011大阪府淀川区西中島7-1-26  
<https://www.mkgr.jp>  
原産国：中国  
Made in China  
この商品は株式会社マルカンの企画・開発・管理  
基準により協力工場で製造されたものです。

マルカン製品のお問い合わせ先

チャットで  
お問い合わせ

【お客様相談室】  
**072-931-0345**  
受付時間(土日祝日を除く)  
9:00~12:00 / 13:00~16:00

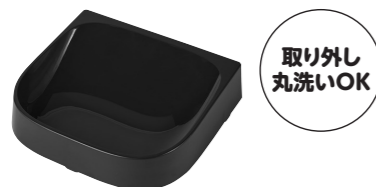
※無線LAN(Wi-Fi環境)に関するお問い合わせはお受けできません。  
【お願い】  
◆マルカンでは、お客様やペットにより安全で楽しい商品をお届けするため常に商品の見直しを行っております。そのためお買い上げの時期によって同一商品にも多少の違いが生じる場合がありますのでご了承ください。  
◆品質には万全を期しておりますが、万一不都合がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

# 1.各部名称



## 【付属品】

### 1.食器



### 2.フードタンク(内蔵済み)



### 3.ACアダプター



### 4.取扱説明書(本書)

## 【製品仕様】

品名	ペット用オートフィーダー カメラ付
品番	DA-381
商品サイズ	W245×D315×H370mm
本体重量	2.1kg
電源	アダプター式、乾電池式(単一アルカリ乾電池3本)
定格電圧	DC5V
定格消費電力	作動時約2.5W 待機時約0.35W
ACアダプター	入力100V(50Hz/60Hz).出力5V 2A
コード長さ	約1.5m
材質	本体:ABS/フードタンク:ABS 食器:ABS/蓋:PC
給餌設定	1分単位最大4回
給餌量	10g~100g/回(0g設定可) ※約1.8kg/4.5Lのドライフード使用時
タンク容量	4.5L(約1.8kg)
録音時間	10秒
対応スマートフォン	対応OS:iOS11~/Android5.0~
無線規格	IEEE802.11 b/g/n(2.4GHz専用 ※5GHz接続不可)
無線LANセキュリティ	WEP(ASCII) .WPA(AES) .WPA2(AES)

※製品改良のため、デザイン・仕様等予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。  
※電池は別売です。

# 6.安全上のご注意

## 【⚠警告】

- 交流100V以外の電源および付属のACアダプター以外は使用しないでください。火災、感電の原因になります。
- 火気や炎天下など、高温の場所に置いたりしないでください。周囲温度が10~40℃の場所で使用してください。漏液、発熱、発火、破裂の原因になります。
- コードの破損につながる行為はしないでください。傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物をのせたり、挟み込んだりしないでください。火災、感電の原因になります。
- 濡れた手で使用したり、濡れた被毛に使用しないでください。火災、感電、ケガの原因になります。
- 本体内部やプラグ接続部、ACアダプターは濡らしたり水洗いしないでください。感電、ショートの原因になります。
- 風呂場、雨に当たる場所、水気・湿気の多い所では使用しないでください。火災、感電の原因になります。
- 差し込みのゆるいコンセント、ホコリのついたACアダプターは使用しないでください。火災、感電の原因になります。
- お手入れの際はACアダプターを持って、コンセントから抜いてください。電池も外してください。
- 灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸殻のような火気のあるもの、トナーなどの可燃性のものを吸い込ませないでください。火災の原因になります。
- 分解、修理、改造は絶対にしないでください。
- 自動中もしくは手動給餌中には、フードが排出される出口ならびにフードタンクの中に、絶対に手を入れないでください。ケガの原因になります。
- 本体の操作など、正常に動作することを確認してからご使用ください。動作を確認しないで使用すると、留守中にフードが出なかったり、フード詰まりなど、おもわぬトラブルの原因になります。

## 【⚠注意】

- 本品は犬・猫用の給餌器です。他の目的には使用しないでください。
- 本体の倒れ防止の為、ヤンチャなペットには壁ぎわに置くことをおすすめします。
- お子様のいたずらにはご注意ください。また、おもちゃとして遊ばせないでください。
- 本品は精密機器ですので取り扱いには十分気を付けてください。
- 火気や暖房器具のそばに置かないでください。火災やペットの火傷、製品の変形の原因になります。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。破損や故障の原因となる場合があります。
- 水などの液体を吸い込まないようにしてください。
- 感電のおそれがありますので、製品の水洗いや湿った場所での使用、濡れた手での使用はしないでください。
- 使用中、保管中ともに水が本体部分に入らないようご注意ください。保管の際は必ず湿気の少ない場所で保管してください。
- 本品の組み立てやご使用に際しては、乱暴に扱いますと破損やケガの原因となりますので、丁寧にお取り扱い願います。
- ウェット・半生・セミモイストタイプのフードを入れると本体の故障やフードの腐敗、虫わきの恐れがあります。
- 長期間使用しない場合は、電池を外してください。
- 定期的に食器・フードタンクの掃除をしてください。
- フード詰まりや故障が発生した場合にも対応出来るよう2日以上留守にされる場合は知人やペットシッターに様子を見てもらうことをおすすめします。
- 本品をご使用いただくにはスマートフォンと無線LAN(Wi-Fi環境)とインターネット接続が必要です。(2.4GHz専用です。5GHzではご利用いただけません。)

## 【困ったときは】

現象	対処法
本体から「アッオ」という音が鳴る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オートフィーダー本体とインターネットの接続が切断されている現象となりますので、再度スマートフォン(端末)と本体を接続してください。</li> </ul>
設定時刻になってもフードが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設定時刻と給餌量を確認してください。</li> <li>●フード出口にフードがたくさん残っている場合、赤外線センサーの働きによりフードが新たに出ない場合があります。</li> <li>●赤外線センサーの前の透明パネルが汚れているとフードが出ないことがあります。定期的に点検と掃除をしてください。</li> <li>●フードが羽根車に引っ掛かって、出ない場合があります。その際にはモーターに負荷を掛けないため、モーターが自動的に停止する仕組みになっており、アプリ画面に「本体が正常な状態ではありません。」が表示されます。※操作パネルの「設定」もしくはアプリの「手動給餌」ボタンを押しても、フードが出なかった場合は、フードタンクを取り外して、詰まったフードを取り除いてください。</li> <li>●フードのサイズ、形状によってはフード詰りの発生確率は大きく異なります。フード詰りの頻度が多い場合は別のフードをお試しください。</li> </ul> 
設定した量のフードが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設定給餌量を確認してください。</li> <li>●フード出口にフードがたくさん残っている場合、フードが設定の全量出ないことがあります。ペットが食べることで量が減り続けることによりフードが出ます。※次回給餌設定時間まで赤外線センサーの働きにより出なかった分量はリセットされます。</li> <li>●本品は羽根車の間にできた「枿」に入ったフードの「体積」で給餌量を測っていますので、給餌「重量」にはバラツキがあります。</li> <li>●単一アルカリ乾電池の残量不足の可能性がありますので、3本すべて、新品の電池と交換してください。</li> </ul>

※無線 LAN (Wi-Fi 環境) に関するお問い合わせは、おつかいの Wi-Fi 機器メーカーの無線 LAN サービスご契約先にお問い合わせください。

専用アダプター(別売)をご用意しています。お近くの販売店でお買い求めください。ペット用オートフィーダー カメラ付き用アダプター(品番:PDA-381-1 JANコード:4906456578956)



## 2.ご使用前に

### 【設置場所について】

本体が傾く場所・ガタガタ安定しない場所、屋外や浴室など湿気の多い場所、長時間直射日光が当たる場所や暖房機の近くでの使用は故障・事故の原因になります。※本体の倒れ防止の為、ヤンチャなペットには壁ぎわに置くことをおすすめします。

- Wi-Fi機との距離が近すぎるとデータ通信障害が生じる場合があります。オートフィーダーをWi-Fi機から1m以上離してください。
- 安定した通信環境を維持するため、Wi-Fi機との距離は8m以内をおすすめします。Wi-Fi機との間に壁などの障害物がある場合は4m以内が目安です。



### 【電池の入れ方】

本体底面の電池ボックスの蓋を開け、新しい単一アルカリ乾電池(別売)3本を記載されている電池方向に従ってセットします。



●アダプターと電池を同時にセットする事で、普段はアダプターから給電され、停電やアダプターが外れた場合などにより、アダプターから給電できない場合に自動で電池から給電します。※電池で給電された場合は、給餌機能のみ働きます。カメラ・マイク機能は使えません。

※電池のみ使用した際は、アラームランプが点灯しますが、ローバッテリーになると、点滅になります。※完全に電池の電力がなくなった場合は、ローバッテリーになってもアラームランプは点灯しません。※アダプターと同時使用した際は、ローバッテリーになってもアラームランプは点灯しません。定期的に電池を確認・交換してください。

### ⚠ 電池ご使用上の注意

- 古い電池と新しい電池を同時に使用しないでください。
  - アルカリ乾電池と充電電池を同時に使用しないでください。
  - 長期間ご使用されない場合は電池を取り出してください。
  - ショートさせたり、分解、加熱したり、水や火の中に入れてください。
  - 万一、電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。
  - マンガン電池や充電式電池は、本品の性能を十分に発揮できない場合がありますので、使用しないでください。
  - 電池は一度に新しい電池と交換してください。
  - 電池の+/-の向きを正しく入れてください。
- ※電池を誤使用すると発熱・破裂・発火・液もれなどの危険があります。

※乾電池寿命は平均的なご利用方法で、約2ヶ月が目安です。寿命が近づきますと、操作パネルのアラームランプが点灯しますので、お早めに乾電池3本すべて交換、もしくはACアダプターを差し込んでください。※完全に電池の電力がなくなった場合は、新しい電池と交換してください。(乾電池の寿命は、電池メーカーやフードの種類・気温等により異なります。)

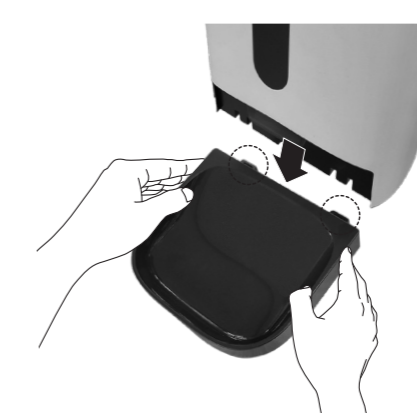
### 【赤外線センサーについて】

赤外線センサー付きで食べ残し時もフードの出過ぎを防止します。



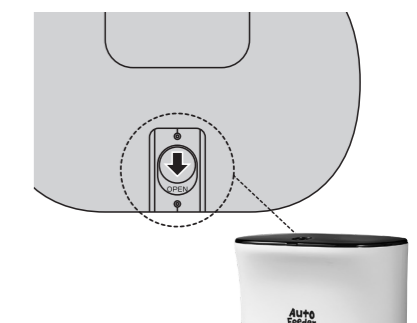
### 【食器の取り付け方】

本体を食器に差し込みセットします。外す際は本体を持ち上げてください。



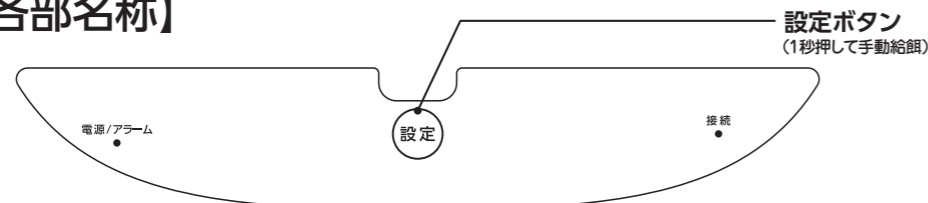
### 【蓋の開き方】

矢印方向に開閉ボタンを押しながら蓋を開けて、フードの投入や設定を行なってください。



### 3.操作方法

#### 【操作パネル各部名称】



#### 【接続の仕組み】



#### ⚠️ ご注意

- ・設定ボタンを長押しして、接続ランプが青色に点滅すると、これまでの設定が初期化(リセット)されます。
- ・アプリのアカウントとパスワードは本体に対して1つだけ設定できます。
- ・アプリの設定アカウントとパスワードを入力すると複数のスマートフォンで使用できます。※同時接続8台まで。※安全のためアカウントとパスワードは大切に保管し、信頼できる人にだけ教えてください。

#### 【アプリ及び自動給餌設定】

##### 1 電源オン

単一アルカリ乾電池(別売)3つを入れる、もしくはコンセントにACアダプターを差し、液晶画面表示が点灯します。

※設定は、ACアダプターのみ可能です。※電池を入れておくと不測の停電やコンセントから給電がストップした場合は、自動的に電池より給電され、タイマー給餌のみが行なわれる仕組みになっていますので、電池とAC電源の併用をおすすめします。



##### 2 アプリのダウンロード

[方法1] QRコードをスキャンすると、自動的にダウンロードページに移動します。  
[方法2] iPhoneはApp Storeに、AndroidはGoogle Playに“AutoFeeder”と検索して“AutoFeeder株式会社マルカン”をダウンロードしてください。



##### 3 アプリの新規登録



新規登録をクリックすると、新規アカウント作成画面へ移動します。



アカウント、パスワード、メールアドレスを入力し、「決定」ボタンを押します。



「登録が完了しました」というメッセージが出ます。

### 【困ったときは】

現象	対処法
オフラインになる。	<p>サーバーの状況によってWi-Fiのネットワークが一時的に途切れている状態です。スマートフォン(端末)のアプリ画面内のボタン(ビデオ・給餌・情報など)を押して画面表示を切り替えてみるか、一旦アカウントをログアウト頂いてから再度ログインしてみてください。通信が確立するまでしばらくお待ちいただき、時間を置いてから操作してみてください。</p> <p>※「オフライン」が表示されている間は端末での操作が出来なくなりますが、設定頂いている給餌自体は実行されます。</p> <p>※モバイルWi-Fiルーターを経由して本体に接続頂いている場合は、外出時にモバイルWi-Fiルーターを持ち出すと本体との無線が切断されてしまいオフライン状態となります。</p>
端末と本体が繋がらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Wi-Fi機との距離を確認してください。P.2の【設置場所について】参照願います。</li> <li>●スマートフォン(端末)と本体の接続手順中P.4の4【接続前の準備】の通り、再度試してください。</li> <li>●無線LAN(Wi-Fi環境)に異常がないかをチェックしてください。</li> <li>●本体の電源が入っているかを確認してください。</li> <li>●他の人が別のアカウントを設定していると接続できません。</li> <li>●設定ボタンを長押しして、接続ランプが青色に点滅すると、これまでの設定が初期化(リセット)されます。</li> </ul> <p>※端末とオートフィーダー本体を再度接続する場合は、必ず下記の手順で進んでください。</p> <p>右上の「☰」をクリックします。 「デバイス設定」をクリックします。 「接続を切る」ボタンをクリックします。</p> <p>※Androidスマートフォンのみ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①【Wi-Fiの詳細設定】-「接続できない電波を無視する」をOFFにする。 (「接続不良のとき無効にする」等機種により表示が異なる場合があります。)</li> <li>②【①】でも失敗する場合のみ、下記もお試しください。 「ネットワーク自動切り替え」「スマートネットワーク切り替え」のような設定がある場合OFFにする。</li> </ol> <p>●スマートフォン及びWi-Fi機の再起動をお試しください。</p> <p>●スマートフォンのSIMが低速モードで速度が出ていない場合や電波が安定していない場合にスマートフォンから本体カメラの映像が「見にくい・途切れる・切断される」があります。 その際はスマートフォンのアプリ内で下記の操作をお試しください。 【操作手順】画面①のビデオボタンを押す→画面②の枠を押します→画面③の【スムーズ】を選択します。</p> <p>(画面①) (画面②) (画面③)</p> <p>●電子レンジの近くや電波機器や道路に近い場所などでWi-Fiが途切れたり安定しない場合があります。本品の設置場所を変えてお試しください。</p>
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ACアダプターがきちんと差し込まれているか確認してください。</li> <li>●単一アルカリ乾電池の残量不足の可能性がありますので、3本すべて、新品の電池と交換してください。</li> </ul>

## 4.フードのセット

### 【フードタンクへのフードの入れ方】

蓋を開けて、フードタンクヘドライフードを入れてください。



**除湿剤の入れ方**  
蓋の裏側にある除湿剤入れのカバーを手前に引いて開けてください。除湿剤を入れてご使用いただけます。

### ⚠️ ご注意

●大粒タイプや粒の一边が5mm以下または15mm以上のドライフードはご使用できません。

(適合サイズであっても異形もしくは特殊形状のドライフードはフード詰まりの場合があります。様子を見ながらご使用してください。)

●半生・セミモイストタイプ、また缶詰などウェットタイプのフードはご使用できません。

(ウェット・半生・セミモイストタイプのフードを入れると本体の故障やフードの腐敗、虫わきの恐れがあります。)

●屋内専用です。

※フードタンクには、約4.5L/1.8kgのフードが入りますが、フードの形状や比重によって、多少誤差が出ます。ご了承ください。

### 【フードタンクがうまく本体に入らない場合】

- フードタンクにフードが入っている時  
フードタンクを本体に入れたまま手動給餌操作を行なってください。
- フードタンクにフードが入っていない時  
フードタンクの羽根車を回してください。



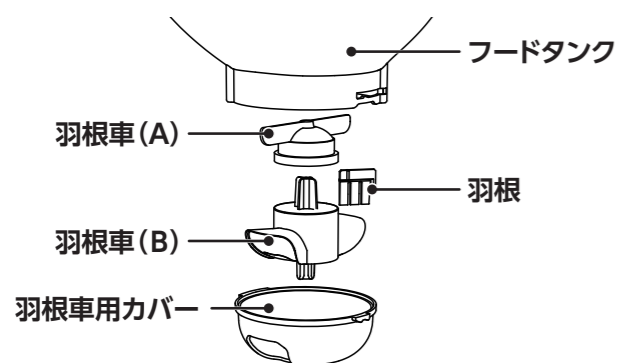
ヒント



フードタンクの羽根車

## 5.サポート

### 【フードタンクの各パーツ】



### 【お手入れの仕方】

フードタンク・食器は、本体から取り外し、水洗いしていただけますが、本体には水がかからないようにしてください。本体の汚れは、中性洗剤や水を含ませた布で落とし、乾いた布で拭き取ってください。フードタンク・食器は、食器用洗剤で洗浄できますが、水分をよく拭き取り、必ず乾燥させてから取り付けてください。赤外線センサーが汚れているとフードが出なくなります。定期的に点検と掃除をしてください。

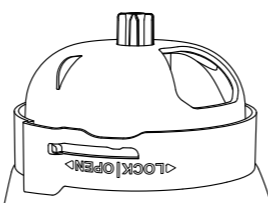
プラスチックを痛めますので使用しないでください。



### 【フードタンク取り外し&取り付け方】

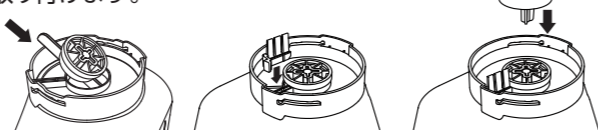
#### ●取り外し方

- ①本体の電源コードを外した状態で本体からフードタンクを取り外し底面を反転して置きます。
- ②羽根車用カバーをOPEN方向に回して、各パーツを取り外します。



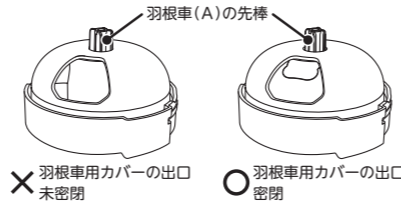
#### ●取り付け方

- ①本体の電源コードを外した状態で下記の図のようにフードタンクに各パーツを取り付けます。



- ②羽根車用カバーを付けて、LOCK方向に回して完了です。最後に下記の図のように、羽根車(A)の先棒を羽根車用カバーが密閉されるまで回してください。

※羽根車用カバーの出口が密閉されないと、給餌設定が実行されてもフードが出てこないで、ご注意ください。



× 羽根車用カバーの出口未密閉  
○ 羽根車用カバーの出口密閉

## 4 スマートフォンと本体の接続手順



**設定**  
長押しする

オートフィーダーの電源が繋がった状態で、電源ランプが点灯するまでお待ちいただき、続いて操作パネルの「設定ボタン」を「ピンポン」と鳴るまで長押ししてください。

**【アプリログイン】**  
新規登録したアカウントとパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

右上の「+」をクリックします。

上から2番目の機種を選択します。



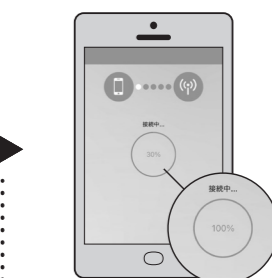
**【接続前の準備】**  
端末のWi-FiをONにし、オートフィーダー本体に接続させるWi-Fiと端末を接続した状態にしてください。[次へ] ボタンをクリックします。



**【オートフィーダー本体に接続させるWi-Fiの設定】**  
オートフィーダー本体及び端末に接続させるWi-Fiのパスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

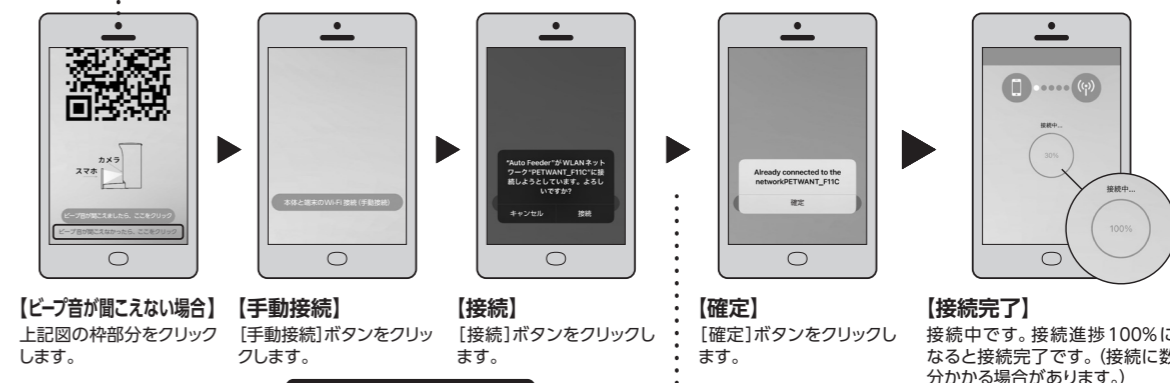


**【ビープ音が聞こえる】**  
本体のカメラに向かってスマートフォンに表示されているQRコードをかざしてください。ビープ音が聞こえると、上記図の枠部分をクリックします。



**【接続完了】**  
接続中です。接続進捗100%になると接続完了です。(接続に数分かかる場合があります。)

### ビープ音が聞こえない場合



**【ビープ音が聞こえない場合】**  
上記図の枠部分をクリックします。

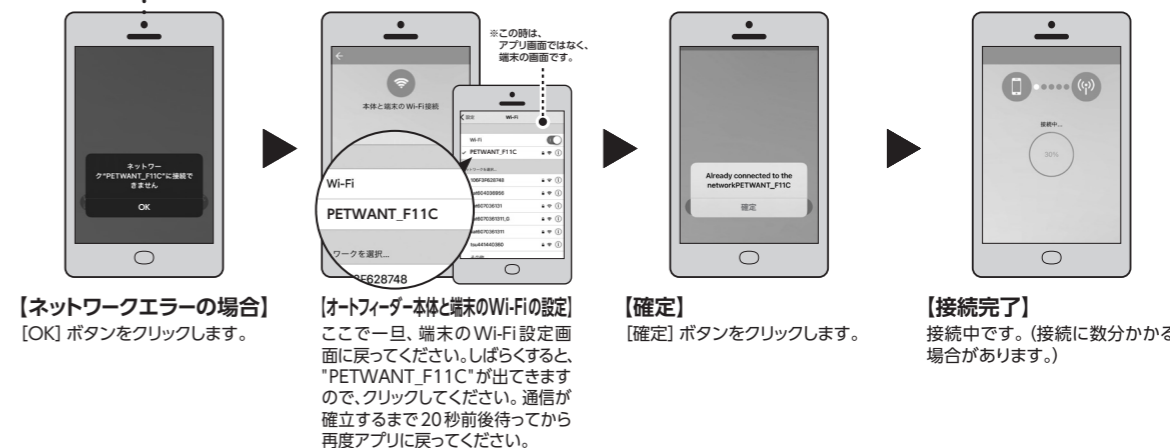
**【手動接続】**  
[手動接続] ボタンをクリックします。

**【接続】**  
[接続] ボタンをクリックします。

**【確定】**  
[確定] ボタンをクリックします。

**【接続完了】**  
接続中です。接続進捗100%になると接続完了です。(接続に数分かかる場合があります。)

### ネットワークエラーの場合



**【ネットワークエラーの場合】**  
[OK] ボタンをクリックします。

**【オートフィーダー本体と端末のWi-Fiの設定】**  
ここで一旦、端末のWi-Fi設定画面に戻ってください。しばらくすると、「PETWANT\_F11C」が出てきますので、クリックしてください。通信が確立するまで20秒前後待ってから再度アプリに戻ってください。

**【確定】**  
[確定] ボタンをクリックします。

**【接続完了】**  
接続中です。(接続に数分かかる場合があります。)

### 3.操作方法

#### 5 自動給餌設定



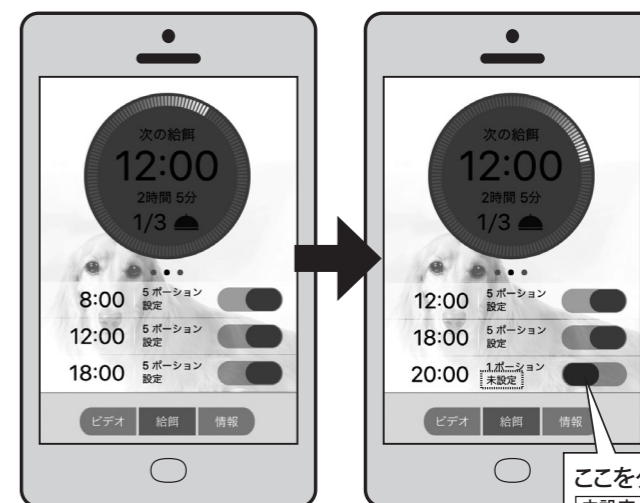
“給餌”ボタンを選択し“+”をクリックすると、自動給餌設定画面へ移動。“+”が隠れている場合は画面をスライドさせてください。



給餌量と給餌時間の設定を行なった後“決定”ボタンをクリックします。



“決定”ボタンを押すと、1回目の給餌時間と量の設定が完了です。“次の給餌”ボタンを押して2～4回目の給餌時間と量の設定を行なってください。



食事の設定が必要ない場合は未設定にしてください。

ここをタッチすると未設定に変更

#### 6 録音と再生



“未設定”をクリックすると、録音リスト画面へ移動します。



“+”をクリックすると、録音画面へ移動します。



“Ⓜ”を長押ししている間録音されます。



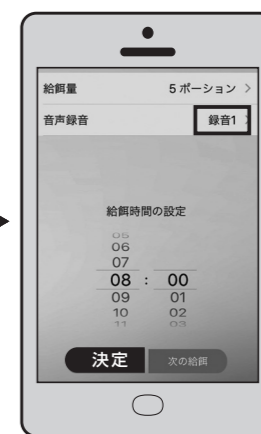
“Ⓜ”を押すと、録音した音声再生できます。“再録音”を押すと、再録音ができます。“決定”を押すと、録音保存画面へ移動します。



保存名を入力し、「確定」ボタンをクリックします。



録音された音声を選択し、右上の「確定」ボタンをクリックします。\*音声を選択した際、オートフィーダー本体から録音内容が再生されます。\*録音リストは3件まで。



“決定”を押すと、録音音声の設定が完了します。

#### 7 設定の終了

フードをフードタンクへ入れてください。蓋を閉じたら、設定は終了です。  
\*フードを入れた後、アプリ画面の「手動給餌」ボタンを押して正常にフードが出る事を確認してください。

#### 8 動画や写真の撮影

【[http://www.mkgr.jp/mg.php?auto\\_f](http://www.mkgr.jp/mg.php?auto_f)】をご確認ください。

#### 【手動給餌の方法】

【方法1】オートフィーダー本体の「設定」ボタンを約1秒間押すと一度に約10gのフードが出てきます。

【方法2】スマートフォンのアプリ画面で「手動給餌」ボタンを画面が変わるまで長押しすると設定したフード量が出てきます。

\*インターネットの環境によりませんが、ボタンを押してから、フードが出るまで約5秒かかります。

\*上記の目安は約直径10mm/厚み6mm、約4.5L/1.8kgのドライフードを使用の場合です。



【ご注意】接続ランプが点滅するまで長押しするとすべての設定+接続が初期化(リセット)されますのでご注意ください。

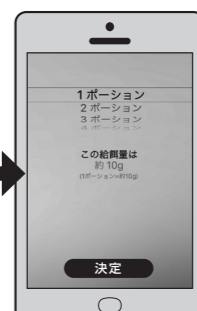
または



画面が変わるまで長押しします。



クリックすると、給餌量の設定画面へ移動します。



手動給餌セットの給餌量の設定をして、“決定”を押してください。



手動給餌の実行中です。